

なばりんく



6.7月号



しあわせ写真

今月号の「しあわせ写真」は、福祉まちづくりセンターで行われた「しあわせ写真フォトコンテスト」で優秀賞に輝いた『樋本和男さん』の作品です。

お孫さんと目線を交わし微笑み合っている場面がとてもほっこりして幸せを感じますね。

《関連記事 P.3》

まちびと探し

今月の
まちびとさん



個人ボランティア
こうの たかし
河野 隆司さん

河野さんは、とんぼ玉作家としてプロの活動をしながら、おもちゃ病院、赤目インタープリンタ研究会、赤目自然学校などでボランティア活動をされています。

もともとアウトドア派で物作りが大好きな河野さんは「物作りはとても楽しい。」「人生楽しんで長生きしたい。」「物作りなら何でもお手伝いします。」と、不要品を利用した万華鏡や折り紙の万華鏡、空き缶細工、マクラメなどの作品を前に、笑顔で語ってくれました。

また、ボランティア活動に興味を持っている方へ「ボランティアはきっかけが大事、勇気をもって“私も入れて!”と声を出せばきっと一歩踏み出せる。」と、アドバイスをしてくれました。



地域ピックアップ

★お助けセンター配食活動<<桔梗が丘地域>>



平成29年4月3日(月)桔梗が丘南市民センターを活動拠点に、新たな配食ボランティア活動の取組みが開始されました。この活動は桔梗が丘地域内で、高齢者等日常生活での困り事に対する住民同士の助け合い組織である「お助けセンター」(桔梗が丘自治連合協議会)の取組みの一つとして、毎週月・水・金曜日に手作りのお弁当(平均50食)を届け、高齢者の安否確認を行っています。

お助けセンターでは、日常生活のちょっとした困り事を支援する「生活支援」と、通院や買い物等を支援する「外出支援」にも取り組んでいます。

※桔梗が丘地域では、「給食ボランティアグループ友-友」「サポートハウス“いこい”」の2つのボランティアグループが配食活動を行っていましたが、平成28年度をもって発展的解散をし、現在のお助けセンターの活動に移行されました。



《問合せ先》

桔梗が丘お助けセンター(桔梗が丘市民センター内) TEL66-3100(月・金9:00~12:00)

★赤目竜神山新ルート開通記念トレッキング <<赤目地域>>



5月20日(土)に赤目まちづくり委員会主催のトレッキングが行われ、市内外から60名が参加しました。

かつては小学校の遠足コースとしても親しまれていた竜神山ですが、近年は入山者も無く荒れていた登山道を、赤目まちづくり委員会が整備しました。

当日は、開通セレモニーが行われ、赤目まちづくり委員会の姫野会長と亀井市長によるテープカットの後、いざ出発!

沢沿いに登ると、七色滝・竜巻滝をはじめ、岩肌に彫られた不動明王の彫刻物や大石の弾痕など、歴史を感じながら歩くことができます。山頂付近の「七つ池」のほとりで仲間と食べるお弁当は格別でした。

下山後は、歴史研究で有名な松鹿昭二氏による、柏原城跡の解説に耳を傾けました。

興味のある方は、赤目市民センターでコース案内図を配布していますので、ご家族やお友達とチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



《問合せ先》赤目まちづくり委員会(赤目市民センター内) TEL63-0329

「しあわせ写真」フォトコンテスト応募作品《福祉まちづくりセンター》



たくさんのご応募
ありがとうございました。

音楽工房



6・7月の
“みんなでいっしょに
唄いませんか”

開催日：6月21日(水)
7月10日(月)

上記いずれも

◆時間：10:30～11:30

◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあいホール

◆対象：市内在住の方

※参加費無料・申込不要

「雨降りお月さん」

ジメジメとした季節がやってきました。食中毒や熱中症にも気をつけて、しっかり体調管理してくださいね。

さて、今回は“雨降りお月さん”です。大正14年に児童雑誌コドモノクニの1月号で発表され、タイトルは「雨降りお月」でしたが、中山晋平(作曲)の希望で、「雨降りお月さん」になりました。この歌がとても好評だったため、同年3月号に「雲の蔭」というタイトルで続編が掲載されました。「雨降りお月さん」(1番)と「雲の蔭」(2番)は後に一つの歌として歌われるようになり、1番と2番とではメロディーが少し違っていています。珍しいですね～!

1番の歌詞の中に「1人で傘(からかさ)さしてゆく シャラ シャラ シャンシャン鈴つけた お馬に揺られて濡れてゆく」という歌詞があります。野口雨情(作詞)の孫、野口不二子さんによると、雨情夫人のヒロさんから「輿入れの日は雨が降っていて、馬で2日もかけて来た」という話を聞いたそうです。今では考えられない事ですよ!!

【みんなで唄いませんか】でお待ちしております。

介護者サロン“さくら喫茶”

開催日：毎月第3水曜日

◆時間：13:30～15:30

◆内容：小物づくりと茶話会

◆会場：福祉まちづくりセンター
(イオン名張店 3階)

◆対象：市内在住で、介護をされている方、介護に関わりのある方等

※参加費無料・申込不要

名張市家族介護者の会「楓の会」活動のご紹介

名張市家族介護者の会「楓の会」の活動として、5月10日(水)に総合福祉センターふれあいにて総会と昼食交流会を行い、会員11名の参加がありました。昼食交流会では、介護についての情報交換や、それぞれの近状について話し合いました。

介護をしている皆様、介護についての悩みを一人で抱え込まず、介護仲間と話し合ってみませんか?



名張市社会福祉協議会(63-1111)までお気軽にお問合せください。

手づくりレシピ紹介



〈材料〉約8個分

★カステラ…120g

★生クリーム…大さじ2

★バター…20g

トッピング…カラフルスプレー等

板チョコ…ミルク、ホワイト各1枚



ロリポップチョコ

〈作り方〉

- 1…ボウルに材料★を入れて手でよく混ぜる。
- 2…1を8等分にして丸める。
- 3…チョコレートを手で割り、それぞれ別に湯煎で溶かす。
- 4…2にスティックを刺し、3をかける。
- 5…トッピングで飾りをつけて完成!



レシピ提供:名張地区まちづくり推進協議会

～サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか？

おすすめ図書!

桔梗が丘南小学校で読んだ本をご紹介します。



ほたる鑑賞会があちらこちらで開かれる季節となりました。都会では見られなくなりましたが、自然豊かな名張ではちょっとした幸せを感じられるひとときです。

- 『もうじき一年生』 (長崎源之助)
- 『どろんこハリー』 (ジーン・ジオン)
- 『かぐやひめ』 (日本昔話)
- 『きつねのたなばたさま』 (正岡慧子)
- 『さんびきのこねこ』 (いもとようこ)
- 『アンパンマンとごりらまん』(やなせたかし)
- 『のえんどうと百人のこどもたち』(甲斐信枝)
- 『ばばあちゃんのアイスパーティ』
(さとうわきこ)

『ええところ』
「ほかのこのええところをみつけてあげるねん。いっぱいみつけていっぱい、いうてあげるねん。」
というのが最後の文章です。
皆がこんな気持ちだとけんかやいじめもなくなるかもしれません。
私たちがこうありたいと思います。



作 くすのき しげのり
絵 ふるしょう ようこ
出版社 学研教育出版

協力: 桔梗が丘南小学校図書館ボランティア

(同会は、本の整理、図書室(学校図書館)のディスプレイ、本の読み聞かせ、学校図書館ボランティアに関する研修、地域の絵本展に協力しているボランティアです。)

発行: 社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地 名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111

福祉まちづくりセンター

ショッピングセンターリバーナ(イオン名張店)3階
電話番号 62-7388
ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
発行部数: 1,350部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、福祉まちづくりセンター、市民情報交流センター、各市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、近畿大学工業高等専門学校、名張市役所、名張市立病院、名張市立図書館、総合体育館、協力店舗等(吉野豆腐、はなびし庵、なの花薬局夏見店、山平たばこ店、café*mjuk、books アルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、ワロリヤ本店)ふれあいサロン「ゆこゆこ」、コミュニティプラザナウラ、名張市教育センター

《名張市内の小学校、中学校の一部では、クラス掲示をしていただいています。》

★地域福祉活動情報受付中! 『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど・・・情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます!

次回のなばりんくは8月1日発行予定です。